

1/29 新型コロナウイルス感染症の発生について（第2報）

【通常診療の再開について】

今回、新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し、計6名（医師2名、研修医2名、看護師1名、患者1名）の感染者を確認いたしました。複数の感染者発生に伴い、当該病棟の新規入院を中止しておりましたが、1月29日（土）までに当該病棟の職員65名に2回目のPCR検査を行い、全員の陰性を確認いたしました。

以上の経緯を踏まえ、1月31日（月）から入院について通常診療を再開する運びとなりました。引き続き地域基幹病院として、皆さまに安心・安全な医療を提供できるよう尽力してまいります。

今回の当院のクラスター発生では、多くの患者さま、ご家族の皆さま、近隣医療機関の皆さま、地区医師会、練馬区保健所、区行政の皆さまには大変なご迷惑とご心配をおかけいたしました。心よりお詫び申し上げます。皆さまのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお、今後も入院患者、病院中央部門の職員、チーム医療担当職員、研修医などに、定期的なPCR検査を行い、新型コロナウイルス感染者の早期発見、早期隔離に全力を挙げてまいります。

順天堂大学医学部附属練馬病院

院長 児島 邦明